

No. 1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 04-189779
(43) Date of publication of application : 08.07.1992

(51) Int.CI. B65D 81/26
B32B 7/02
B32B 27/00

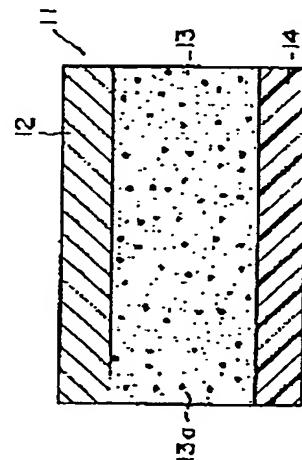
(21) Application number : 02-319902 (71) Applicant : MARUTANI KAKOKI KK
(22) Date of filing : 22.11.1990 (72) Inventor : ITO YUICHI

(54) SHEET MATERIAL FOR LIGHT PACKAGING AND LIGHT PACKAGING BAG USING SAME

(57) Abstract:

PURPOSE: To regulate the moisture absorbing speed, and maintain the moisture absorbing capability for a long period of time by a method wherein on the lower surface of a supporting body with steam barrier capability, a moisture absorbing layer is provided, and on the lower surface, a moisture permeable adhesive film layer is formed.

CONSTITUTION: A supporting body 12 is constituted of a materials with steam barrier capability, e.g. a aluminum composite film layer, and a moisture absorbing layer 13 is constituted, e.g. by encapsulating an appropriate quantity of a physical absorbing type (porous) moisture absorbing material 13a in an olefin synthetic resin material. An adhesive film layer 14 is constituted of a heat-sealable chemical-resistant thermoplastic resin material, e.g. nylon, polycarbonate, polystyrene or polyethylene, etc., and the moisture absorbing speed of the moisture absorbing layer 13 is adjusted by the selection of a material and the thickness.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

【物件名】

刊行物 1

【添付書類】

4 204

⑩日本国特許庁 (JP)

⑪特許出版公認

1

⑬公開特許公報 (A) 平4-189779

⑭Int.Cl.
B 63 D 81/26
B 32 B 7/02
27/00

類別記号

H 7191-3E
6639-4F
B 7717-4F

⑬公開 平成4年(1992)7月8日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑭発明の名称 軽包袋用シート材及びこれを用いた軽包袋

⑭特 願 平2-319902

⑭出 願 平2(1990)11月22日

⑭発明者 伊藤祐一 千葉県松戸市中金杉4-126

⑭出願人 丸谷化工株式会社 東京都千代田区大手町2丁目6番2号

⑭代理人 弁理士 羽村 行弘

明 碑 審

1. 発明の名称

軽包袋用シート材及びこれを用いた軽包袋

2. 特許請求の範囲

① 水蒸気バリアー性質を有する支持体の下面に水分吸着層を設け、該水分吸着層の下面に水分透過性の接着フィルム層を形成したことを特徴とする軽包袋用シート材。

② 水蒸気バリアー性質を有する支持体の下面に水分吸着層を設け、該水分吸着層の下面に水分透過性の接着フィルム層を形成してなるシート材を、接着フィルム層の裏なり部の必要箇所を熱接着形成したことを特徴とする軽包袋。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は医薬品類、食品類、化粧品などの商品やハイテク産業で用いられる電子部品、半導体部品等の部品であって、医薬を扱う物品を包装す

るのに好適な軽包袋用シート材及びこれを用いた軽包袋に関するものである。

(従来の技術)

従来、上記のような用途に用いる軽包袋の代表例として、実開平1-144345号公報に開示されたような技術が知られている。この公報に記載の軽包袋は第3図、第4図に示す。図において、1は包装袋、2は該包装袋1を形成するシート材である。シート材2は支持体3の下面に防湿コート層4を設け、該防湿コート層4の下面に接着剤層5を介してヒートシール性層6を設け、該ヒートシール性層6にはシリカゲルなどの吸湿剤(水分吸収剤)7を含有させてなる。

前記包装袋1は前記シート材2をそのヒートシール性層6を内側にして折返し、ヒートシール性層6の裏なり部の必要箇所8をヒートシールしてなる。このヒートシール性層6は熱可塑性樹脂により構成され、樹脂中には前述の如く吸湿剤7が含有されているため、袋内の湿気を吸収することができるようになっている。

特開平4-189779 (2)

【考案が解決しようとする課題】

上記従来の軽包袋袋は、從来から問題になっていた、袋中にした乾燥剤や固形の乾燥剤を商品と一緒に包装袋内に投入する場合や不都合さが幾分解消されるものの、商品が触れる包装袋内面に吸湿剤が漏出し、しかも吸湿剤の粉末(ダスト)が商品に付着(汚す)するとの問題があつた。

また、吸湿剤を含有させたヒートシール性層6は、吸湿量等の吸湿性能を高めるために吸湿剤を多量に含有させると、接着性能が低下し、耐久性のない袋となってしまう一方、吸湿剤の含有量を抑えて接着性能を高めると、吸湿性能が低価に低下し、この種の包装袋の目的を失うといった問題があり、必ずしも適切とはいえないものであつた。

この発明は上記の事情に鑑み、水分吸着スピードの調整が可賛であり、ヒートシール性が良好で製袋加工性が高く、しかもダストブルーフ性に優れた軽包袋用シート材と、商品が触れる包装袋内面に吸湿剤が漏出しない吸湿性能の高い軽包袋袋

を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、この発明の第1の構成は、水蒸気バリヤー性能を有する支持体の下面に水分吸着層を設け、該水分吸着層の下面に水分透通性の接着フィルム層を形成したこと、この発明の第2の構成は、第1の構成に示したシート材を接着フィルム層を内側にして折返し、該接着フィルム上層の適なり部の必要箇所を熱接着形成したことである。

【作用】

上記構成により水分吸着層の下面に形成した接着フィルム層の厚さの選択により水分吸着スピードが調整でき、水分吸着性能を長期間にわたって持続できるようにした。

また、水蒸気バリヤー層となる支持体と、水分透通性の接着フィルム層とで水分吸着層をサンドwichしているから外部からの湿気を防止すると共に、ダストブルーフ性を良好に保持するようになっている。

【実施例】

次に、この発明を第1図～第2図に示す実施例に基いて説明する。

第1図は本願シート材の拡大断面図である。図において、1-1は本願シート材、1-2は該シート材1-1の支持体である。支持体1-2は水蒸気バリヤー性能を有する素材、例えばアルミ複合フィルム層から構成されている。この場合、支持体1-2の厚さ及び剛性は医薬品類、食品類、化粧品、ハイテク農業で用いられる機械部品、半導体製品等々吸収する物品に適するよう決定されるが、普通には10～50μ程度として設定される。

1-3は前記支持体1-2の下面に形成された水分吸着層で、該水分吸着層1-3は例えば、オレフィン系の合成樹脂材に、物理吸着タイプ(多孔質)の水分吸着材(例えばシリカゲル、活性アルミナ、合成ゼオドライタ等)1-3aを適量封入してなる。かくして得た水分吸着層1-3は水溶性・腐食性・溶解性がなく、安全性および衛生性に優れている。この水分吸着層1-3と支持体1-2とは接着

層若接着或いは他の方法(例えば熱封加工法)で接着される。この水分吸着層1-3は層内に存在する水分吸着材料の種類等により吸水能力を決定できる。

1-4は前記水分吸着層1-3の下面に形成された水分透通性の接着フィルム層で、該接着フィルム層1-4はヒートシール可能な耐薬品性の熱可塑性樹脂材料、例えばナイロン、ポリカーボネート、ポリステレン、ポリエチレン等から構成されている。該接着フィルム層1-4は素材や厚さの選択により水分吸着層1-3の水分吸着スピードを調整できる。この水分調整のために、必要に応じフィルム層自身に孔を人工的に形成することもある。また、接着フィルム層1-4の形成はシート材1-1にヒートシール性(熱封加工性)を付与するためにも、更に、接着フィルム層1-4の形成は前記支持体1-2を想定してダストブルーフ性を付与するためにも必要である。

第2図は前記シート材からなる軽包袋体の構成図である。該軽包袋体2-0はシート材1-1をその

特開平4-189779 (9)

接着フィルム層14を内側にして折返し、該接着フィルム層14の裏なり即の必要箇所(破線ハッティング部)21を熱着(ヒートシール)形成してなる。

かくして得た総包装体20は、シート材11を構成する支持体12が外部からの透湿を防ぐとともに、袋体内部では水分透湿性のある接着フィルム層14を通して水分吸着層13による水分吸着ができるから、袋内に商品(例えば医薬品類、食品類、化粧品などの商品やハイチク医薬で用いられる繊維部品、半導体製品等の商品であって、強度を有する物品)を収容しておけばその商品を常に乾燥状態に保つことができる。しかも、本総包装袋20に吸湿剤(水分吸着層)が接着フィルム層14にて覆われ、袋内には漏出せず、商品に化学変化を生じさせる虞れも、また、商品を吸湿剤の粉末で汚すこともない。

なお、この発明に係る総包装用シート材及びこれを用いた総包装袋は上記実施例に限定されるものではなく、その要旨を変更せざる範囲内において

て種々に变形実施することが可能であることを付記する。

【発明の効果】

以上の如く、この発明は支持体の下面に形成した水分吸着層の下面に、水分透湿性のある接着フィルム層を形成し、水分吸着スピードの調整を可能にし、水分吸着性能を最大にわたって持続できるようしている。また、水分吸着層の下面に形成した接着フィルム層には従来のものと異なり、ヒートシール性を阻害する吸湿剤の混入がないので製造加工性が高い。更に、水分吸着層は支持体と接着フィルム層とによりサンドイッチ状に構成されているから、ダストブルーフ性に優れるものである。

また、本総シート材を用いて得た総包装袋は、支持体が外部からの透湿を防ぎ、袋体内部では接着フィルム層を通して水分吸着層による水分吸着ができるから、吸湿剤(乾燥剤)が袋内に漏出せず、商品に変化を生じさせたり、商品を吸湿剤の粉末で汚すこともないなど各種の優れた効果を有する。

するものである。

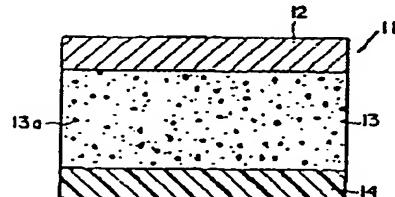
【図面の簡単な説明】

第1図～第2図はこの発明の一実施例を示し、第1図はシート材の拡大断面図、第2図は袋体にした状態の外観斜視図、第3図は従来例の拡大断面図、第4図は袋体にした状態の外観斜視図である。

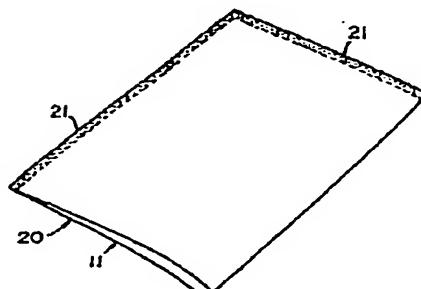
- 1:—シート材
- 12:—支持体
- 13:—水分吸着層
- 14:—接着フィルム層
- 20:—総包装袋
- 21:—熱着部

代理人弁理士 羽 村 行

第1図

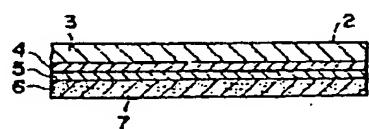


第2図



特許平4-189779(4)

第3図



第4図

